

司 式 熊 田 雄 二 牧 師

前 奏

奏 楽 門 脇 陽 子 姉 妹

開 会 招 詞

* 賛 美 歌 4:1 天 地 に 優 る 神 の 御 名 を

あ め つ ち に ま さ る 神 の 御 名 を ほ む る に た る べ き 心 も が な アーメン

* 開 会 祈 禱

罪 の 告 白 祈 禱 書 3 罪 の 告 白 ②

主なる神よ、あなたの御前に背きの罪を告白します。わたしは聖なる戒めに従わず、失われた羊のように迷い出て、思いと言葉と行いにおいて罪を犯しました。しなければならぬことをせず、してはならぬことをして、自分の身に、あなたの怒りと裁きを招きました。憐れみに富んでおられる父よ、罪と過ちを悲しむわたしに憐れみを注いでください。神の独り子である救い主の名によって、わたしを赦してください。聖霊の恵みによって、わたしを新しく生まれ変わらせてください。願わくは今から後、み栄えのために生きる者とならせてください。主イエス・キリストの御名によって。

アーメン。(詩編32、イザヤ53、ローマ7)

罪の赦しの宣言

十 戒 祈 禱 書 4

1. あなたは、わたしのほかに、何者をも神としてはならない。
2. あなたは自分のために刻んだ像を造ってはならない。それにひれ伏してはならない。それに仕えてはならない。
3. あなたは、あなたの神、主の名を、みだりに唱えてはならない。主は、み名をみだりに唱える者を、罰しないではおかない。
4. 安息日をおぼえて、これを聖とせよ。
5. あなたの父と母を敬え。
6. あなたは殺してはならない。
7. あなたは姦淫してはならない。
8. あなたは盗んではならない。
9. あなたは隣人について偽証してはならない。
10. あなたは隣人の家をむさぼってはならない。隣人の妻、またすべて隣人のものをむさぼってはならない。(出エジプト20、申命記5)

* 賛 美 歌 4:3 心 を 清 め て 愛 を 満 た し

心 を 清 め て 愛 を 満 た し わ が 主 の 御 姿 な ら せ た ま え アーメン

公 同 の 祈 禱 祈 禱 書 22 救 済 史 祈 禱 ③ ア ブ ラ ハ ム 契 約

全能の神さま、あなたは、アダムからキリスト・イエスの到来までのあらゆる時代に、神の民を

保ち、導き、増し加え、み言葉を与えて死より命に呼び返されました。

あなたは、信仰の父アブラハムを選んでカルデヤのウルから召し出し、彼とその子孫に契約を
与え、約束の地をお与えくださいました。

その契約はキリストにおいて果たされ、約束の地は神の国として実現したことを、心から感謝し
ます。(創世記12～22、ローマ4、ガラテヤ3、ヘブライ11、「聖書」一)

献 金 (黒) 教会活動 (赤) 札幌伝道所 70

今ささぐるそなえものを 主よ きよめて うけたまえ アーメン

《 子どもプログラム 担当：根岸めぐみ姉妹、熊田なみ子姉妹 》

聖書朗読 ルカによる福音書9章46～55節(新約聖書124頁)

説教・祈祷 「誰がいちばん偉いか」 熊田雄二牧師

* 賛美歌 26：1 子羊をばほめたたうる

子羊をばほめたたうる たえなるもののね あめにきこゆ

いざ御民よ 恵みの主に 栄の冠をささげまつれ アーメン

* 主の祈り 祈祷書1

天にまします我らの父よ

願わくは御名をあげさせたまえ

御国を来たらせたまえ 御心の天になるごとく 地にもなさせたまえ

我らの日用の糧を 今日も与えたまえ

我らに罪を犯す者を我らが赦すごとく 我らの罪をも赦したまえ

我らを試みに会わせず 悪より救い出したまえ

国と力と栄えとは 限りなく汝のものなればなり アーメン。

* 頌 栄 66 世をこぞりて

世をこぞりて ほめたたえよ

御栄え尽きせぬ あまつ神を アーメン

* 祝 禱

後 奏 (黙禱)

報 告 雨宮信長老(司会・受付 次週：古澤兵庫長老)

本日 受付 1階：藤井牧子執事 2階：藤原宏章執事 / 動画：大日南信也執事 録音：雨宮信長老

次週 受付 1階：那珂信之執事 2階：長尾牧執事 / 動画：門脇光生兄弟 録音：番場駿也兄弟

I 受難予告と弟子たちの地位争い

福音書の後半は、キリストの受難と弟子たちの高慢を描いています。誰がいちばん偉いかという弟子たちの議論を、ルカは二ヶ所記録しています。一回目は、弟子たちのキリスト告白とキリストの受難予告のあと、後半の舞台エルサレムに近づいていく途中で起こりました。二回目は、22：24-30、最後の晩餐のあとで地位争いが起こりました。

それからもう一つ、ルカ福音書は書いていないのですが、マルコ福音書は「ヤコブとヨハネの願い」、マタイ福音書は、「ヤコブとヨハネの母の願い」というのを書いています。マルコでは本人たちがイエス様の左右の大臣にしてほしいとお願いしたのですが、マタイではヤコブとヨハネの母親が自分の息子たちをイエス様の左右の大臣にしてほしいとお願いしました。昔からモンスターペアレントはいたのですね。

ヤコブとヨハネが自分たちは別格であると主張したのは、ペトロが一番弟子のように扱われているので、危機感を持ったのでしょう。確かにペトロとヤコブとヨハネは、よく肝心な場面でイエス様について来いと言われるトリオでした。ですが、ペトロがいつも一番目です。ヤコブとヨハネはおもしろくなかったのでしょうか。そして他の9人の弟子は、くやしいと思ったことでしょうか。ところが、その3人トリオの中でも地位争いがあったのです。

そこで、この話に続けて「逆らわない者は味方」という小見出しの話がついています。弟子でもない者たちが主イエスの名によって悪霊を追い出しているという、不思議な出来事です。それをいちばんおもしろくないと思ったのがヨハネだったようで、「やめさせようとなりました」と主イエスに言いました。ヨハネはヨハネ福音書で自分のことを何度も「イエスの愛しておられた弟子」と自己主張しています。よほど僕が一番と欲していたのでしょうか。それに対してイエス様は「やめさせてはならない」と言われました。主イエスの名によって悪霊を追い出しているのなら、それは主イエスのわざです。

II 子供を立たせて

イエス様は子供をそばに立たせて、弟子たちに教えられました。「私の名のためにこの子供を受け入れる者は、私を受け入れるのである。私を受け入れる者は、私をお遣わしになった方を受け入れるのである。」典型的な三段論法です。子供、私、私をお遣わしになった方。すなわち、子供・私・天の父。子供を受け入れるなら私を受け入れる、私を受け入れるなら天の父を受け入れることになる、と言われました。

この三段論法のキーワードは「私の名のため」であります。イエスをキリストと告白した弟子たちにとって、「イエスの名のため」は「キリストの名のため」となります。預言者の名のためでも、洗礼者ヨハネの名のためでもなく、イエス・キリストの名のためです。そうであれば、モーセやエリヤのような大人物の名前に頼ることは、もはやありません。ペトロの信仰告白のあと、主イエスはペトロ・ヤコブ・ヨハネの三人を連れて高い山に登られました。その時、天から声がしました。「これは私の子、選ばれた者、これに聞け。」

(9 : 35)

「これ」とは神の御子ですから、御子を天から遣わしてイエスと名付け、キリストとして働くようにされた神の愛が「これ」に満ちています。それゆえ、イエスをキリストと告白する者には、神の恵みが満ち満ちていきます。イエスとは罪から救うという意味（マタイ1：21）、その名前を持った方が救い主「キリスト」という称号を持つからです。人間的に偉い者には遠くなる神、ただ神に頼る以外にない者には近くなる神です。

子供は小さければ小さいほど親に頼らねばなりません。生まれたばかりの赤ちゃんができることは、親を求めて泣くことだけです。そのように、罪人は、神を求めて泣くことしかできないのです。そこに、神はキリストをお遣わしになりました。それゆえ、主イエスは、イエスのそば近くに子供を立たせて、弟子たちに言われました。「あなたがた皆の中で最も小さい者こそ、最も偉い者である。」

III メッセージ

この箇所を、マタイ福音書ではもう少し説明しています。「心を入れ替えて子供のようにならなければ、決して天国に入ることはできない」（18：3）。天国に入るには神の義という絶対的な義（神の正しさ）が必要です。これほどの完全さがなければ天国に入れないのだとすると、もはや、人間のレベルでは不可能です。神の子のイエス様にくっついて一緒に天国に行くほかありません。キリストとの結合以外に天国への入国許可証はないのです。

それはただ神の恵みによるのですから、人間によって得られる人間の義ではありません。信仰によってだけ得られる神の義であります。だから、キリストを信じるだけで神の義をいただいた者は、神の国でだれがいちばん偉いかと争うべきではないのです。もちろん、神の国でいちばん偉いのは神です。神の右に座したもう王なるキリストです。神は神の御子を天から地上にお遣わしになりました。神の御子は天より降り、十字架の死に至るまでへりくだってくださいました。キリストの姿にならってへりくだれ、キリストに習って仕える者となれ。これがメッセージです。

しかし、福音書後半は、キリストの受難予告にもかかわらず、弟子たちにはキリストの真相が分からないので、「天国でいちばん偉い者」論争が始まります。「受難予告」のたびに論争はエスカレートして、最後は、おそろおそろエルサレムまで付いてきた弟子たちが、最後の晩餐の席で、「おれだけは他のやつが裏切っても裏切らない。たとえ火の中、水の中でもだ」と、最後まで天国でいちばん偉い者論争をしながら裏切るのです。

人間が誇り高ぶる罪をよくよく知り抜いておられるのは、エデンの時から神様だけです。人間の誇り高ぶる罪がどのような悲惨さを自分の身に招くのか、よくよく知り抜いておられるのは、エデンの時から神様だけです。その神からいただくことのできる罪の赦しが、神の子キリストの十字架の姿です。

わたしたちも、弟子たちのように、くりかえし高ぶる罪を犯してしまいます。アダムとエヴァのように神から隠れるようにして、私たちも巧みに罪を犯してしまいます。そのような私たちを信仰と悔い改めに導く力があるのは、恵み深い憐れみ深い神のみです。私たちの巧みでかたくなな心を砕く力があるのは、キリストの愛だけです。キリストの十字架に表された神の愛のみであります。